

議会報告会・意見交換会 記録 (山西防災コミュニティーセンター)

記録作成：議会基本条例推進委員会

○開催日時：5月16日(木) 19時～21時

○開催場所：山西防災コミュニティーセンター

○参加者：47名

○主催者側：議員全員(13名)、議会事務局(3名)

- 次第
- ①開催挨拶…議長(池田)
 - ②議会全容の説明…議会基本条例推進委員長(西山)
 - ③予算および委員会審議の説明…予算審査特別委員長(小笠原)
 - ④常任委員会の議案審議内容および閉会中の継続調査について
 - …総務建設経済常任委員長(添田)
 - …教育福祉常任委員長(脇)
 - ⑤説明に対する質疑応答
 - ⑥意見交換会

※②～④は当日配付資料に基づき説明を行った。

<質疑応答>

参加者：町の予算も増えていますが、町全体としてはどうなのでしょう。全国規模の町村の町債と比較して。

司会：予算全体が増えていますが今後の動向への心配というご質問だと思います。

予算審査特別委員会委員長：歳入のうち町税が半分を占めます。他は交付金で賄っています。借金の率というのは健全の範疇です。ただ、臨時財政対策債は後年、国の交付金として位置付けられることになっていますが、基本的には国も借金が1千兆円もありますから、その中で国から戻ってくるのかというのは心配ではあるところです。

総務建設経済常任委員長：町の財政見通しでは、町債残高は平成27年度がピークで77億9千3百万円の推計です。予算の説明資料の中で気になるのは、実質公債比率です。平成25年度は5.6%で、適正範囲は18%未満ですから健全の中に入ります。しかし27年度は7.0%、29年度が8.4%、31年度が8.8%、というように上昇傾向にありますので、ここは町民のみなさんとしっかり見ていかなければならないと思います。また、基準財政需要額と基準財政収入額の差が地方交付税として交付されるのですが、満額交付されず一時的に臨時財政対策債という形で国に代わって町が借金するのですがその残高経過を注視したいと思います。町もリスクは感じているところです。平成25年度は需要額と収入額の差の内、5億7千万円が臨時財政対策債振替額となるが全額ではなく予算では4億円程度の起債です。

参加者：教育のことで伺います。閉会中の継続審議で子育てを目標にしています。「就学期における子どもに視点を当てる」という意味が、どうしてそうなのかよく分からないの

ですが、各小学校で学童保育という問題が出ているのをご存知ですか。それに対して、この視点のポイントの内容を知りたい。就学期におけるこどもがすっぽかされている状況があったからここに視点を置いたのか、それとも学童保育に対しては、補助をすとか町の動きがあるのか。町に聞いてみてもはっきりしてこないのです。学校の先生にしても、学校から出ちゃうと、私の責任じゃないという言い方をされるので、それでは困るんです。それを明確にしてほしい。

司会：教育福祉常任委員会の継続審査のテーマの詳細と、学童保育についてですね。

教育福祉常任委員長：子育てについては非常に範囲が広いので、まずはここから取り組んでみようということになりました。皆様からご意見をいただいたことを委員会のなかで勉強してお答えできるところに持っていきたいと考えています。

参加者：二宮・一色・山西の各小学校でも、学校が終わったあとの子どもたちの管理が大変みたいです、その面で町はどのように考えているか、どう受け止めているのですか。学童保育は、指導員のかたが動いていますが、実際は面倒見きれない状況があるようです。例えば10人に1人ベースでやらなきゃいけないところを15人に1人とか、子供と指導員の人数が合わないところがあるようです。他にもいろいろあります。学校の学童保育に関しては放り出されている状況なのです。

教育福祉常任委員長：おっしゃっていただいたことは委員会で勉強いたします。

参加者：吾妻山の整備事業、7千8百万円。何年間か整備していますが。経済効果はどれぐらいになるのですか。

予算審査特別委員長：町が山に登る人数は発表していますが、それに対する経済効果までは計っていません。

参加者：今回、自転車置き場を有料化し、体育館やプールの利用も負担を増やしたにも関わらず、吾妻山公園整備にお金をかけてやっているわけですが、町外から来ている人も多いのに、町民だけが負担をさせられて、町外から来る方がどれだけお金を落とすのか。公園の維持管理ということで募金箱を置いていますが、入れている感じもしない。町外から来られる方にも負担していただけるような方法も考えていただきたい。

予算審査特別委員会委員長：経済効果が見やすくなるように、というご要望ということですね。

参加者：税金を使っているわけですから、それなりの町に落としてもらう方法を考えるべきだと思います。

司会：費用対効果について議会でチェックをすべきということで議会の中でもしっかり議論をさせていただきます。

参加者：総務建設常任委員会の閉会中の継続審議で、梅沢漁港の防潮堤ですね、平成22年度から滑った転んだしてますね。今はテトラをやりだしていますね。22年度から予算計上されていましたね。

総務建設経済常任委員長：平成22年度予算で防潮堤をつくるための調査設計がされました。

23年度で離岸堤設置に関する漂砂調査が行われました。現在は70メートルの人工リーフ（潜堤）が設置されようとしています。テトラポッド（消波ブロック）を2段積み上げたものを突堤から50～60メートル空けて70メートル作ります。それによって高波を消波しようとするものです。予算は、中日本のブロックを利用しますので計上されていません。

予算審査特別委員会委員長：西湘バイパスの道路の会社がやってくれています。

参加者：要するに、町としては無償で、ということですね。海というのはつながっているわけですからあそこだけ防潮堤を作っても効果というのはどうなんでしょう。無駄金ということになりませんか。

総務建設経済常任委員長：西湘バイパスが堤防の役割をしていますが、梅沢海岸の橋げたのところでは、背後地への高波防止をするためにこのような計画を立てています。ここに防潮堤を作る場合に問題となったのは、高くなるため景観が悪くなることと、養浜の必要がある、ということで離岸堤になりました。テトラポッドが使えることも考慮されました。しかし、漂砂調査結果で漁港内への砂の堆積とそれに伴う東側海岸の砂浜浸食が問題となりました。

参加者：二宮は、ほとんど岩石ばかりですよ。そういうのを入れると、ますます海岸はなくなってしまうんじゃないですか。

総務建設経済常任委員長：そういうことで、次に砂の堆積や浸食の影響が少ないと思われる潜堤というものに変化していったのです。

参加者：何年ぐらいかかるのですか

予算審査特別委員会委員長：6月末までです。

議会基本条例推進委員長：西湘バイパスの陸部のところに防潮堤をつくるのが町の計画ですが潜堤の効果を見て防潮堤の高さなどが検討されますが、その時はお金がかかります。しかし中日本が横須賀に持っていくと解体費用がかさむので、それを利用して潜堤を設置しております。中日本は無料で工事をすることなので、町は一切お金はかかりません。

参加者：では、効果というものを町としては見ていかなければならないのですね。

議会基本条例推進委員長：その経過をみて防潮堤に結びつけていきます。

参加者：地引網できるのですか？

議会基本条例推進委員長：当初より潜堤の長さを短くしたので地引き網ができるということになっています。

参加者：北口は、駅前整備がされてきて良くなってきていますが、南口はゴーストタウン化が進み、商店街として体をなしていません。町おこしというものを議会として考えられないですか。

司会：後ほど意見交換の場で取り上げさせていただきます。

参加者：12 ページ、子育て元年を宣言している中で、虐待防止についてです。臨床心理士

をどう活用するのかについて具体的に教えて下さい。350万円がよく付きましたが、現場に入っていくとか、優秀な方をフルタイムではキープできないと思います。どのように働いていただくのでしょうか。

教育福祉常任委員長：臨床心理士に関してですが、虐待に関しては、従来よりホットラインで職員が対応していました。県費の補助が出るようになり今後非常勤ではありますが臨床心理士において対応することになり、相談機能が充実します。ただ具体的なことはこれからです。

参加者：虐待防止が世の中注目されていますが、虐待以前で親が相当苦勞しています。苦勞なくていい部分で苦勞しています、一番拾い上げられるのが臨床心理士ということです。このパターンでいくと、ある日突然電話の前に座らされる形になると思います。そうすると、350万円、本当に動いてくれたらそんな価値ではないのですが、それを今後押さえていただきたいと思います。

<意見交換会>

司会：次に意見交換会に入ります。先ほどご質問いただきました南口の商店街についてお答えさせていただきます。

予算審査特別委員会委員長：22年23年で、多額ではないですが、南口を何とかしたいと、商店街の方々研修会に行ったりして予算をかけたのですが、うまく活用されませんでした。町長自身は南口を盛り上げたいということで、総合計画にはなかった子育て支援施設のサロンを作りました。おかげさまで利用は多いです。ですが、その利用が、栄通りでお買い物するようなしかけにはなっていません。町としては一定の予算をかけて取り組んでいます。

参加者：町長も町民の代表だが、議会も町民の代表だ。議会としては、町のシャッターが閉まっているところなど、どういう対策を取っているのかという議論はなされていないのですか。

議会基本条例推進委員長：北口は一本だが南口の場合は駅前・栄通り・中央と商店街がある。この3者の意思統一がなかなかうまくいかない。活性化については町が非常に苦慮しているところです。議会のほうでもそういう意見をたくさんいただいて、なんとか先が見えるようにしたいと思います。

参加者：計画とは目標を持つことなど、議員や行政で考えがあると思うが、一番の問題として、町の人口ピラミッドを見ると60～69歳が一番多い。それに対して、0～9歳の人はその半分だ。逆ピラミッドになっていますから、60年経ったら、町の人口が半分になるということ。議会側としても、将来どのようにいくべきか。東大跡地を買ったのは良いとは思いますが、いつの時代にその土地を利用するのか、なんのためにするのか。人口が少なくなるということは、税金を納める人も少なくなり、利用する人も少なくなるということ。このような基本的問題を抱えていることを念頭において将来のことを考えてい

ただきたい。

司会：貴重なご意見ありがとうございます。

参加者：4月の広報を読みました。25年度町の施策が発表されています。国立小児病院跡地を利用して、定住人口の確保につなげるという子育て施策の一環で、町が目玉施策として掲げられています。議会だよりの一般質問でも平成28年に着手するかどうか・・・？そこで、神奈川県的人口も900万人が50万人位減り、町も9千人位減る、と県の発表がある。将来的に見たときに人口が減るわけだから、いち早く施策進めるとのことだが。もうひとつ、都市マスタープランのなかで公共施設整備をどうやっていくか、これとあわせて小児病院跡地が付随していくのでしょうか。一方で、相当な財源が必要になるはずで、25年度の予算財源一般会計は77億1千万円、自主財源は44億1千万、33億は依存財源ですね。その関係で運営していくとなると、長期的なものを視野に入れて考えていかなければなりません。こと柳川町政の時につくった、体育館、町民福祉センター、庁舎、等々が老朽化しているわけです。それが先を見たときに金がかかってきます。財政面をみていただいて、議会で十分な議論をしていただいて、将来につけを残さない対策をとり、基本条例を作って議会も町民に応える、という趣旨ですから、ぜひよろしく願いいたします。要望です。

参加者：町民のいのちを守る防災について。要望事項ですが、防災に対しての備蓄。どこにあるのか提示してほしい。まず、ここの地下にあります。それを知る人は少ない。パウチか何かで雨風にあたって消えないように掲示する。街中にはどれほどあと備蓄があるのか、町として掲示してほしい。中身も分かるように、絵とか写真などで。

司会：基本的に広域避難場所となるところと防災コミュニティセンターには備蓄があります。各地区でも地域のお金で用意されていると思います。それを明確にする、ということ、安心感を町民が持てるようにしておくということですね。

参加者：せせらぎ公園の駐車場は。

司会：町は日帰り観光を目指していますから、そのうちのひとつのことですか。

参加者：町は全部の公園が無料だから、結局出ていくお金ばかりだ。それを何か収入を得るようにした方がよいですね。

司会：ご意見として承ります。

参加者：予算審査特別委員会の審査意見のところ、公共施設の白書があって、管理一元化を進めるということでしたが、今後の方向は。

総務建設経済常任委員長：現在町は公共施設課への管理の一元化を進めています。

参加者：さきほど児童館のことを説明されましたが、茶屋地区のほうでの管理をしている者です。老朽化もしてきています。委託されていますので、予算内で考えながらやっておりますが、維持管理についても、あそこは消防法関係で警報機が付いたりするなかで、点検をする業者さんとやりとりもします。業者によって予算も変わってきます、請負業者を防災課に教えてほしい、とも言いました。お金は各委託されているところから払う

にしても、町から一括で頼めば、安くなるのではないかと思い、話に行ったが町からは教えられない、とのことでした。説明にあるように一元化されるのなら、良いと思います、素人が訊きに行ったときに、教えていただいてもいいんじゃないかと思うがどうなのか。

司会：確認いたしまして、後日ホームページに今日の質問と回答を載せさせていただきます。

参加者：以前ここで基本条例のときにも確認いたしましたが、20 地区でのグループ研究をやっている状況の中で、公共施設の統一化とか、そのあたりの結果は議会に反映されているのか。それを読んでいますか。

総務建設経済常任委員長：昨年3つの課題についての研究報告を読みました。

参加者：町から報告があったのですね。そうしますと、茶屋には老人憩の家と児童館と2つあるし、1つしかないところ、何もないところがある。ということは合同で会議もっていかないと結果が出ないと思うが、それには使用料を取るとか、町からの要請も出ていますから、それを踏まえて公共施設のほうは話を進めていただければな、と思います。

総務建設経済常任委員長：総務建設経済常任委員会でも審議課題の一つとして出ており、課題は承知しておりますが、別途承っておきます。

